

令和5年度 第3 ころーれキッズ川鶴職員 自己評価表 集計結果

配布数；3 回答数；3 割合；100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備環境	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3				
	②	職員の配置数は適切であるか	1	1	1	基準上の人員+その他職員で運営している。	今後は発達の特性に合わせて職員が配置できるようにしていくことを検討する。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3				すでにバリアフリーが施工されている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	1			日常の業務での振り返りや児童の気づいた点の共有と対処をする。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	1			指摘事項に基づき、改善可能なものについて対処していく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3				公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2			保護者の評価を改善につなげる。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	1			療育の場で必要な外部研修を受講する。
適切な支援に提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3				成長過程で変化していくニーズを把握し、必要な支援を確立し実施していく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	1		個々に支援計画を策定するため、標準化されたツールはない	どういった支援が児童に合っているのかを模索していく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3				支援の方法については、立場を問わず提言を受けて検討していく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3				季節的や伝統的なものを取り入れ、恒例とそうでないものを行なう。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3				学習面を考え、どこまでできるかを把握して取り組む。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	1			集団でできることと個人でできることを強制することではなく、無理に実践せず促していただくよう努める。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3				実施している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	1			可能な限り行なう。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3				日々の記録から個別記録としてつけている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3				実施している。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	2	1			ガイドラインに沿って計画を立てている。	

関係機 や保 護者 との 連 携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3			児童発達支援管理責任者が管理者のどちらか、または双方が参加する。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	2	1		年度替りや月替わりなどに児童に予定が配布されるので確認する。必要に応じて学校にも確認をする。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	1		契約時にかかりつけ医を確認して、連絡できるようにしている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	1		必要に応じて行なっていく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容の情報を提供する等しているか	1	2		今現在は該当なしのため実践した経緯はないが、今後よりよい支援をしていく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	2		周知等があれば研修を受講していく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2		1	長期休みや1日利用の時に他施設を利用していく計画を立て実践している。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか加しているか	1	2		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3			モニタリングを通して問題の確認をしていく。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3			個別で実践事例の紹介等はしていくが、ペアレントトレーニングの計画を検討する。
	㉚	運営規程規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3			契約時に説明している。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3			相談支援や行政と事案を共有していく。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	2		父母会の開催の是非を含め、どういった連携ができるのか模索していく。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3			状況に応じ本部と対応を協議する。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護事保護者に対して発信しているか	2			月1回の発行を継続する。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	3			法人内で厳格に運用する。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3			意思を明確に汲み上げるため、方法を限定せず個々に合わせて情報伝達をしている。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	1		商店街でくじ引きの係や餅つきなどを実施した。
	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3			必要に応じて提示できる形にしていく。

非常時等の対応	⑳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3			年2回、商店街の消防訓練に参加している	消防訓練のみでなく地震の訓練等も計画し、適切に発信していく。
	㉑	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	1			研修の実施やこまめな情報共有を行っていく。
	㉒	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	2			利用契約書に記載されているが、原則して身体拘束は実施しない。
	㉓	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3				保護者からの聞き取りや検査結果を提出してもらう。
	㉔	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか有しているか	2	1			事例集の形になるよう、日常の記録に記載している。